

科目名	保育内容表現	担当講師	小林由井子
授業形態・単位数	演習 30 時間・1 単位	開講学年	1 学年 後期
評価基準	筆記試験(70%) 授業への意欲・発表内容 (30%)		
目標	<p>1 領域「表現」を理解し、日常の保育や行事での「表現に関する」具体的な指導法を学ぶ。</p> <p>2 保育者として自ら表現することを楽しみ、表現力を広げて深めていけるよう計画し、可能な環境設定の中で模擬授業をする。</p> <p>3 幼児の豊かな「表現」を保証する環境や人の関係性を思案できる。</p> <p>4 「表現」に関する指導案の立て方を学ぶ。</p>		
回	講義内容	方法	
1	表現について (感性・感覚・想像とは)	講義	
2	保育における「表現」 (保育における「表現」の基本について)	講義・演習	
3	領域「表現」について (領域「表現」のねらい、内容について)	講義・演習	
4	乳幼児の発達と表現 (乳幼児期の発達と表現について学ぶ)	講義・演習	
5	生命に対する感性と表現 (生命に対する感性と表現について学ぶ)	演習	
6	絵画・造形活動 (絵画・造形活動における表現について)	演習	
7	音楽的な表現活動 (音・音楽に対する感性と表現について学ぶ)	演習	
8	子どもの存在と「表現」 (子どもの表現にとって他者の存在と人との関係について考える)	演習	
9	身体的な表現活動 (身体的表現活動について)	演習	
10	表現のための環境 (子どもの豊かな感性や表現力を養い、豊かな創造性へと発展させるための環境について)	演習	
11	子どもの表現を育む保育者 (子どもの感性と表現を育む保育者について考える)	講義・演習	
12	表現の教材研究 (子どもの感性と表現を育む教材研究を、園環境の具体例をもとに考える)	演習	
13	「表現」の保育デザイン (事例をもとに「表現」における保育デザインの方法を学ぶ。)	演習	
14	表現活動の指導 (表現を作り出すことを楽しむ)	演習	
15	領域「表現」のまとめ 試験	テスト	
テキスト・参考書	書名 (出版社名) 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・要領 「最新保育講座 保育内容「表現」平田智久・小林紀子・砂上史子編 ミネルヴァ書房」		